

プレスリリース

市制 20 周年記念

第28回少年少女の詩「江間章子賞」授与式を行います

自然や日常生活で心に浮かんだ情景を詩で表現

【発表の要旨】

八幡平市では、市ゆかりの詩人で名誉市民「江間章子先生」の功績を顕彰するとともに、児童生徒が先生の詩の心を引き継ぎ、豊かな心を培うことを願い、平成10年度に少年少女の詩「江間章子賞」を創設し、優秀な作品を表彰しています。

今年度も県内小中学校からの応募作品（応募作品総数：1,491点）から決定した入賞者のみなさんに対し、授与式を行い、安比塗の賞状を贈ります。

- 主催** 八幡平市
- 主管** 八幡平市教育委員会、八幡平市児童詩研究会
- 後援** IBC岩手放送、岩手日報社
- 入賞**
部門 小学校(低学年・中学年・高学年)、中学生の計4部門
賞 江間章子賞(各部門1編)
八幡平市長賞(各部門1編)
八幡平市教育長賞(各部門1編)
入選(各部門5編)
- 授与式**
日時 11月3日(月・祝) 午前10時30分～11時
場所 西根地区市民センター
内容 江間章子賞、市長賞、教育長賞の受賞者(計12名)に賞状授与
選考委員長の審査評
江間章子賞受賞者(4名)の詩の朗読
※ 八幡平市市民憲章推進大会内で実施します。
※ 受賞者には、安比塗の賞状を授与します。
- 選考委員**
委員長 赤澤 義昭 氏(日本近代文学会会員)
委員 小野寺久穂 氏(IBC岩手放送メディアセンター
テレビ制作部長(当時))
委員 細田 清 氏(岩手日報社編集局次長兼記事審査部長)



市ゆかりの詩人 江間 章子先生
八幡平市名誉市民

詩人。大正2年3月13日、新潟県高田市(現上越市)生まれ。

大正4年に父が急逝し、少女時代を母の郷里、平館村(現八幡平市平館)で過ごした(平館小学校に6年生まで在籍)。

「夏が来れば 思い出す はるかな尾瀬・・・」で有名な『夏の思い出』の作詞などで知られ、現代詩人会会員、日本文芸家協会、日本音楽著作権協会評議員としても活躍した。

平成17年3月12日、東京都内の病院で逝去(享年91歳)。

西根第一中学校校歌や、平館小学校創立100周年記念讃歌を作詞したほか、平成10年に創設した少年少女の詩「江間章子賞」の初代選考委員長も務めた。

西根町名誉町民
(平成7年11月2日)
八幡平市名誉市民
(平成17年9月1日)
東京都世田谷区名誉区民
(平成4年)
群馬県片品村名誉村民(平成10年)

【担当】

教育委員会事務局教育総務課

総務係長 橋場 忍

電話 0195-74-2111 (内線 1362)

